

鳥取県における基本計画（第2期）の概要

計画のポイント

本県の地域特性を活かした「地域未来投資」の促進により、分散連携型の新たな産業集積の形成を図るとともに、その中心となる企業の収益性の向上を起点とした地域経済の好循環の創出を目指し、人口減少下においても持続性のある安定した経済成長の実現を目指す。

促進区域

鳥取県全域（鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町）

経済的効果の目標

1件当たりの平均3億円の付加価値額（経済波及効果を含む）を創出する地域経済牽引事業を40件創出し、これら事業が促進区域で120億円の付加価値を創出することを目指す

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑧のいずれか）】

- ①素材材、電子・電気機械等の産業の集積を活用した次世代自動車、半導体、電子デバイス、フードテック、医療・福祉機器、IoT機器、航空機、宇宙産業等及びその関連分野の成長ものづくり
- ②日本海、大山、鳥取砂丘等をはじめとする豊かで多様な自然環境から作り出される水産資源、森林資源等を活用した成長ものづくり
- ③松葉がに、まぐろ、二十世紀梨、らっきょう、白ねぎ、鳥取和牛など食パラダイス鳥取県が誇る特産物を活用した農林水産・地域商社
- ④地域全体でのDX推進を基盤にした、サービスの創出やDXの導入・実装に伴う情報通信業の集積を活用したデジタルビジネス
- ⑤鳥取砂丘、大山、山陰海岸ジオパーク、まんが・コンテンツ、星空、温泉・サウナをはじめとする豊かな観光資源を活用した観光・スポーツ・文化・まちづくり
- ⑥森林資源、豊富な水資源、風力をはじめとする豊かな自然環境やGX関連の技術を活用した環境・エネルギー
- ⑦染色体工学技術、海洋由来・きのこ由来の機能性素材の利活用技術をはじめとする地域固有の技術を活用したヘルスケア・教育サービス
- ⑧研修・研究拠点、リスクリリング施策を活用した人材の育成等を基盤としたヘルスケア・教育サービス

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：3,834万円超

※要件2と要件3（雇用者数は除く）については、地域経済牽引事業の計画期間が5年の場合を想定しており、それよりも短い場合は、その事業計画期間で按分した値とする。

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 取引額：6,300万円増加
- 売上げ：1億9,000万円増加
- 雇用者数：5人増加
- 雇用者給与等支給額：2,700万円増加

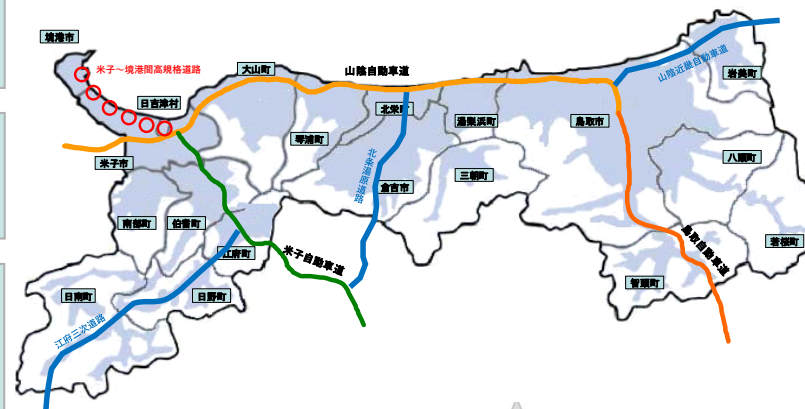
制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税の免除又は不均一課税制度の創設
- ・情報処理の促進のための環境の整備、事業者からの事業環境整備の提案への対応 等

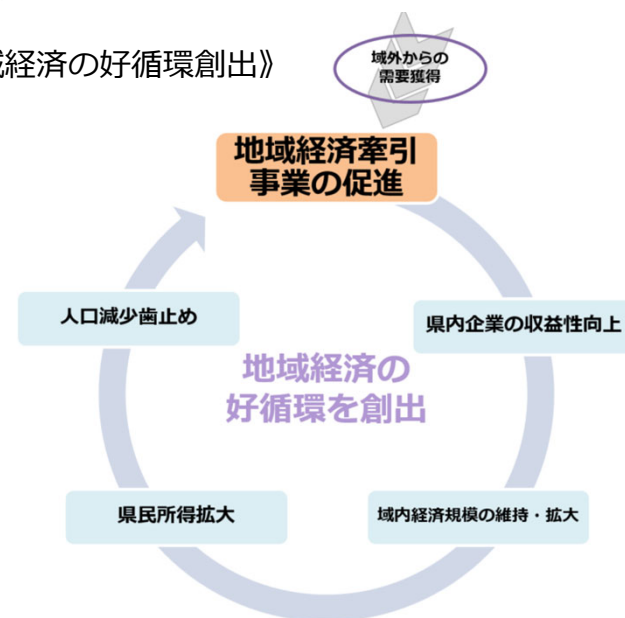
地域経済牽引支援機関

（独）鳥取県産業技術センター、（公財）鳥取県産業振興機構、国立大学法人鳥取大学 等

《促進区域図》



《地域経済の好循環創出》



計画期間

計画同意の日（令和6年4月1日）から令和10年度末日まで